

平成 30 年度中野市子ども子育て会議、会議録

日 時 平成 30 年 11 月 19 日（月） 午後 6 時 30 分 ～ 午後 8 時 30 分

場 所 市民会館 42 号会議室

出席者 （委員） 23 名

須田美帆、土屋政子、松矢美知、波木井 恵、勝山葉月、池野君代、
伊藤 勇、大西清美、竹内由紀、吉原恵美子、小山むつ子、
井出英樹、小高 朗、高野次郎、杉浦宏子、山上裕起子、
仁科智栄子、小橋矢寿子、高野美紗、阿部晃子、渡邊泰子、
山崎みなみ、川口知恵

欠席：湯本美奈子、高島彩子 （順不同 敬称略）

（事務局） 10 名

1 開 会

（子育て課長）

委嘱状を会議資料とともに、各委員に配布してあります。

中野市子ども・子育て会議条例第 5 条の規定により、委員数 25 名中 23 名の出席
があるので、本日の会議は成立します。

最初に子ども部長より挨拶をします。

2 あいさつ

（子ども部長）

本日はご出席いただき御礼申し上げます。

また、日頃より本市の行政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り重ねて御礼申し
上げます。

中野市では、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間を第 1 期とする「中野市子ども
・子育て支援事業計画」を事業指標として、様々な子育て支援施策を実施してい
ます。

この後、昨年度に実施した事業の実施状況について報告を申し上げるので、委員
の皆様からご意見等をお聞かせいただければと思います。

また、来年度は、平成 32 年度以降の第 2 期の計画策定を予定しています。

そのため今年度は、市内の子育て世帯に対し、子育て支援施策のニーズをアンケ
ートにより調査し、分析等を実施することとしています。

委員の皆様には、計画策定にあたっては、未来の中野市を見据えた上で、建設的
なご意見を積極的にいただければと思います。

市としましては、未来を担う子どもたちが、健やかに生まれ安心して子育てがで
きる環境づくりに向け、中野市の実情に沿ったよりよい事業計画を策定し、今後一
層、子育て支援事業の充実を図ってまいりたいと考えております。

本日は、ボリュームある内容となっているので、よろしくお願いします。

3 協議事項

(1) 会長及び副会長の互選について

(事務局) 中野市子ども・子育て会議条例第4条の規定により、「会長と副会長は委員の互選による」とされている。互選方法について、皆さんの意見をお聞きしたいと思います。

(委員) — 意見なし —

(事務局) ご意見がないようなので、事務局案を提案させていただきます。

会長に「中野市民生児童委員会」の山上裕起子様、副会長に「母親クラブ」の小山むつ子様をお願いしたいと思います。

(委員) — 賛同の拍手あり —

(事務局) 委員の皆様にご承認を頂きました。

会長に山上様、副会長に小山様をお願いしたいと存じます。

山上様、小山様、前の席へお願いします。

それでは、着任のご挨拶をお願いします。

(会長) ただいま、会長を仰せつかりました民生児童委員の山上と申します。

委員の皆様と任務を全うできるようご協力をお願いしたい。

(副会長) 副会長を仰せつかりました小山です。

今年度初めての子ども・子育て会議なので、忌憚のない意見を出してもらいたい。

(事務局) 中野市子ども・子育て会議条例第5条の規定により、会議の議長は会長となる。山上会長様、よろしくお願いします。

(2) 「中野市子ども・子育て支援事業計画」実施状況について

(会長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) — 以降、協議事項は子育て課長補佐説明 —

○子ども・子育て会議について説明

年1回程度、子ども・子育て支援事業計画の前年度の実施状況を報告し、ご意見等をいただいております。

○子ども・子育て支援事業計画について説明

現在の計画が、平成27年度から31年度までであり、平成30年度中に子育て支援施策のニーズを把握し、平成31年度中に第2期計画を策定する予定です。

今回の委員の皆様が任期が計画策定までの2年に重なるので、改めて協議等をお願いします。

○本日の事務局は、子ども部子育て課、保育課、子ども相談室の係長以上で対応します。

(会 長) 協議事項(2)について、ご意見・ご質問等あるか。

(委 員) 赤ちゃんの駅の一覧表は、リーフレット等で配布されているか。

(事務局) 市の公式ホームページに一覧表を掲載しているが、冊子等では配布していません。

(委 員) ホームページを見る機会が少ないので、子育て支援センター等で確認できるようにしてほしい。

(事務局) 子育て支援センターに一覧表を掲示し、子育て課でも周知できるようにします。

(委 員) 赤ちゃんの駅の一覧表は、妊娠届や出生届の際に配布してほしい。忙しい時は、インターネットを使用しない。女性目線での配布を考えてほしい。イクメン手帳は転入手続きの際にも配布すべきである。

(事務局) イクメン手帳は転入手続きの際に配布してします。赤ちゃんの駅の一覧表は、子育てガイドブックへの一覧表の掲載を検討します。

(委 員) 中高生を対象にした親となるための子育て講座は、どういう形で実施されているか。

(子育て課長) 具体的な内容は性教育で、4 中学校で学年ごとに実施しているので12回となります。

(3) その他

(委 員)

各事業を一生懸命やっていることは理解し感謝している。

他の市町村では、この会議を数回開催しているところがある。有識者が出席している会議なので、事業や計画推進のために課題となっていること等をいろいろな角度からこの会議で話し合うような場になってほしい。

その他の事項では意見は出ないと思う。

日本は世界の中でも少子化が進んでいる。その中で中野市はどう思い、少子化を食い止めようとしているのか。他の市町村でやっていないことをやらないと、出生数は増えていかない。若い労働力が減少しない中野市にしてほしい。

(委員)

児童養護施設に勤務している。長野市の子育て支援では、土日曜日のトワイライトステイや母親が出産して上の子の面倒をみられない等の場合に利用できるショートステイを、児童養護施設を活用して実施している。

中野市では、障がい者には同様のサービスはあるが、一般には施設がなく実施は難しいと思う。事業の提案をさせていただいたが、施設がないこと等から、すぐには、実施は難しいと思う。

(委員)

市は、参考意見として聴き、今後につなげてほしい。

(委員)

ファミリーサポートセンター事業は、いい事業だと思うが、利用料が高い。市がサポートをしてくださる方に補助金を出し、使う人が安く利用できるようになればいいと思う。実際に母親の仕事の都合で保育園のお迎えが間に合わない時に利用したいが料金が高いという声も聞く。利用料はいくらなのか。

利用する人は安価で、またサービスを提供する人は市からの補助を受け、ある程度の収入になれば、利用しやすくなると思う。

(子育て課長補佐)

3歳未満は1時間700円、3歳以上は600円である。提供する方のボランティア精神で担っていただいている部分もある。利用料の補助については難しいが、今後検討するための意見としてお聴きします。

他に意見等なし

4 その他

(子育て課長)

今日のご意見を参考に会議の内容を見直したり、また違う会議の形でも検討する等、参考にさせていただきます。

他に意見等なし

5 閉会

それでは、以上を持ちまして、子ども子育て会議を閉じさせていただきます。